

北東アジア地域自治体連合第15回環境分科委員会の開催結果(概要)について

2021年11月17日（水）に、北東アジア地域自治体連合第15回環境分科委員会がオンライン形式で開催された。

今回の会議では、次期コーディネート自治体に富山県が引き続き選出されるとともに、「2016とやま宣言*」の主旨に沿った取組みの報告・提案があった。環境分科委員会の2022年個別プロジェクトとしては、継続6件に加え、新規1件の提案があり、参加自治体の同意により実施されることになった。

1 目的

北東アジア地域自治体連合の会員自治体等が実施している環境保全に関する個別プロジェクトの円滑な実施や情報共有等を図り、同地域の環境保全対策を推進する。

2 日時・開催方法

- ・ 2021年11月17日（水） 9時30分から12時30分まで
- ・ オンライン開催

3 主催

富山県、北東アジア地域自治体連合（NEAR）

（公益財団法人環日本海環境協力センターは、富山県から北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の運営業務を受託している。）

4 参加自治体

5か国13自治体

- ・ 中 国（2）：陝西省、遼寧省
- ・ 日 本（2）：山形県、富山県
- ・ 韓 国（3）：江原道、忠清南道、慶尚南道
- ・ モンゴル（1）：ゴビスンベル県
- ・ ロ シ ア（4）：沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、トムスク州（オブザーバー）
- ・ 日 本（1）：佐賀県

5 主な結果

（1）次期コーディネート自治体の選出（協議）

次期コーディネート自治体に富山県が選出された（任期：2年間）。

(2) 2021年個別プロジェクトの実施状況及び活動報告（報告）

2021年個別プロジェクトの実施状況について、提案自治体から報告された。

2021年個別プロジェクト名	提案自治体
北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	富山県
漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
北東アジア地域環境ポスター展	韓国忠清南道
海岸生物調査	富山県
貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	韓国忠清南道
フォトコンテスト「Eco-selfieー自撮りで環境保護」	ロシアトムスク州

(3) 2022年個別プロジェクトの提案状況、環境分科委員会の活動計画（協議）

2022年個別プロジェクトとして、継続6件に加え、新規1件の提案があり、参加自治体の同意により実施されることになった。

また、個別プロジェクトの配慮事項として、環境問題を取り巻く世界的な動向を踏まえ、SDGsの実現、気候変動対策、海洋プラスチックごみ対策等に配慮することに努めるとともに、「2016とやま宣言*」を受けて北東アジア地域の環境保全に関する具体的な取組みの1つとしても推進することに留意することとされた。

2022年個別プロジェクト名	提案自治体
【継続】北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業	韓国忠清南道、富山県
【継続】漂着物の発生抑制に関する学習・啓発事業	富山県
【継続】北東アジア地域環境ポスター展	ロシアハバロフスク地方
【継続】海岸生物調査	富山県
【継続】貝類を対象としたブルーカーボン青少年環境教育体験プログラム	韓国忠清南道
【継続】フォトコンテスト「Eco-selfieー自撮りで環境保護」	ロシアトムスク州
【新規】北東アジア地域生物季節調査	富山県

(4) 各自治体の先進的な環境施策に関する情報交換

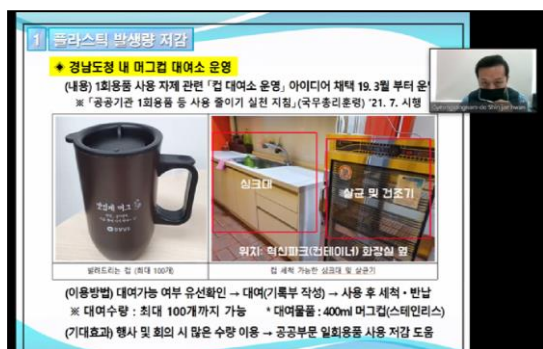
韓国慶尚南道及びロシアトムスク州から先進的な環境施策に関する発表があり、活発な情報交換が行われた。

発表タイトル	発表自治体
「道民と一緒にプラスチックのない綺麗な慶尚南道作り ー 使い捨てプラスチックを減らすための先導計画 ー」	韓国慶尚南道
「環境教育・啓発ーごみ蓄積問題を解決するためのプロジェクト」	ロシアトムスク州

【会議の様子】



会議の様子



韓国慶尚南道の事例発表



ロシアトムスク州の事例発表



情報交換の様子



環境分科委員会事務局会場の様子

＊ 2016北東アジア自治体環境専門家会合とやま宣言（2016とやま宣言）について

2016年5月にG7富山環境大臣会合が開催されたことを受けて、富山県では、日中韓露の自治体職員等参加のもと「2016北東アジア自治体環境専門家会合inとやま」を開催し、北東アジア地域の豊かな環境を将来の世代に引き継ぐために環境保全に連携して取り組んでいくこととして「2016とやま宣言」が採択された。

宣言には、「地球環境問題への積極的な貢献」、「市民協働、環境教育の推進」、「国際的な対話の推進」といった具体的取組みの方向性が盛り込まれている。